扁桃周囲膿瘍の治療を受けられる患者様へ（切開なし）

患者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様　　入院病棟：＿＿＿＿病棟　　主治医：＿＿＿＿＿＿　受け持ち看護師：＿＿＿＿＿＿＿＿　　No1/1

	／ 入院日	／ 2日目	／ 3日目	／ 4日目	／ 5日目（退院日）
目標 毎日看護師と評価します	□鎮痛剤を使用して痛みがコントロールできる				
	□治療について理解できる				□退院後の生活の注意点についてがわかる
	□呼吸困難がない			□検査データが改善している	
	□入院生活についてわかる	□発熱のコントロールができている			
内服 注射	・抗生剤の点滴を１日に２回行います。 ・食事・水分が摂れない場合は、補液の点滴を行います。				
検査	入院日、採血と胸部レントゲンがあります。			採血があります。	
治療 処置	検温（体温：３回、血圧・脈拍：１回）				
	９時頃（休日は９時半）から病棟内の耳鼻科処置室で診察があります。 ※膿がたまっていた場合、必要時針で医師が膿を抜くこともあります。				
食事 飲水	お粥が出ます。米飯への変更や、痛みに応じて軟らかいおかずに変更もできるので、ご遠慮なくお知らせ下さい。				
清潔	・高熱のため、シャワー浴できない時は温タオルで身体を拭きます。 ・浴室を使用する際は、女性は月・水・金、男性は火・木・土です。 ・口腔ケア：１日3～4回水うがいをしましょう。毎食後、歯磨きをしましょう。				
安静 活動	院内自由ですが、熱のある時はお部屋で安静に過ごして下さい				
説明 指導	・痛みや熱がある時には、解熱鎮痛剤を使用することができます（１日３回４時間間隔）。痛みや熱がある時はナースコールでお知らせ下さい。食事 30 分～１時間前に使用すると、食事がしやすくなります。 ・検温時には痛みの程度を数字でお伺いします。のどの痛みに対し、痛みが最大に強く感じるとき１０、痛みが全くなしを０としています ０　１　２　３　４　５　６　７　８　９　１０ ・口の中に出てきた血液や膿は飲み込まないようにしましょう。				【退院後の生活について】 ・外出時はマスクの着用、うがい・手洗いをしてください。 ・喫煙、飲酒、刺激のある食べ物を控えてください。 ・お薬がある場合は、忘れずに内服しましょう。 ・発熱やのどの痛みの症状が出た場合には早めに病院に受診してください。

退院基準：
□必要量の食事水分の摂取ができる
□血液データ（炎症反応）が改善傾向にある

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります